

深掘り

3

ご存知でしたか？岡本商店街豆知識

岡本商店街には、いったいいくつかのお店があるのでしょうか。いくつかのwebページでは、約200とも300ともされています。商店街には「岡本商店街振興組合(1985<昭和60>年結成)」という組織が存在しますが、その加盟店を正式な店舗数とするのであれば、2021(令和3)年12月1日時点で177店舗を数え、スーパーマーケットやコンビニ、レストラン、ファッション、病院・薬局とありとあらゆる業種が軒を並べています。

また、ご存じない方が多いかも知れませんが、商店街の主要な通りには愛称が付けられていて、阪急岡本駅から南に下る坂道は『岡本坂』、JR摂津本山駅から、山手幹線までの坂道は『ゲート坂』と呼ばれます。ほかに、山手幹線と平行する北側、グルメシティ本店の前の通りは『フェスティバル通り』。岡本駅前のコブ岡本の角を曲がり、西へ向かう通りは『キャンパス通り』、きっと岡本キャンパスへ向かう甲南大生の通学路であることから名付けられたのでしょう。

「キャンパス通り」は甲南大生には馴染みが深いですね。

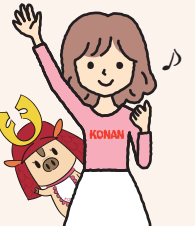


岡本ぶらり

第10回

私たちが紹介します

ナビゲーター/
もっとさんと なんぼーくん
「岡本」のまちをもっともっと知りたい！
好奇心旺盛な女の子と、ご存知甲南の公式キャラクター。



いつも甲南大生とともに
岡本商店街界隈を深掘り

阪急岡本駅やJR摂津本山駅を起点に、岡本キャンパスへの通学路にもあたり、ずっと甲南大生を見守ってきた岡本商店街。今回は商店街やその周辺に着目して、歴史をはじめとしたあれこれをご紹介します。

深掘り

1

岡本商店街の歴史

1920(大正9)年に阪急岡本駅が開業された当時はまだ商店街といったかたちはなく、シーズンには観梅のため人々が訪れる程度でしたが、大阪商人らの別荘地として徐々に栄えるにつれ、自然発生的に駅前に商店が集まり始めました。

1935(昭和10)年に、当時国鉄の摂津本山駅が開業すると住宅地として開け、2つの駅周辺は買い物客で賑わい、商店が建ち並ぶエリアは線路に沿って徐々に広がり、東西約400メートルの長さにまでなり、現在の商店街の体を成していきました。



岡本駅と先に広がる岡本商店街



深掘り

4

木造駅舎の摂津本山駅

JR線で通学していた方はなじみの深い摂津本山駅は、2013(平成25)年秋、近代的な駅舎に生まれ変わりました。2015(平成27)年には駅前の整備も完了し、現在のスタイリッシュな佇まいになりました。エレベーターやエスカレーターを備え、バリアフリー化し便利になった反面、「もったいない」となじみ深い駅舎を惜しむ意見も一部ありました。

というのも、周辺の駅がどんどん新しく建て替えられる中、摂津本山駅の駅舎は阪神間に残る数少ない『木造駅舎』でした。また、戦時中の空襲や阪神・淡路大震災に見舞われても奇跡的に崩壊を免れたことも、惜まれた理由ではないでしょうか。



木造駅舎時代の摂津本山駅 2011(平成23)年



スタイリッシュになった現在の摂津本山駅(南口)

石畳のまち

岡本商店街といえば、きれいに敷き詰められたおしゃれな「石畳」を連想する人が多いと思いますが、その歴史はそう古くはありません。現在でもそうですが、岡本商店街にはアーケードはありません。また、車両規制もないため通常の道路としてアスファルトの上を自動車が往来していました。石畳が設置されたのは、阪神・淡路大震災後です。主要な通りに石畳が敷かれて以降、岡本商店街の象徴になっています。ちなみに、石畳に使用されているのは強度に優れた花崗岩で、気品のある美しい桜色の色合いが特徴的で『桜御影石』と呼ばれています。



震災後、アスファルトから石畳に生まれ変わった岡本商店街の通り。1999(平成11)年

深掘り

2

